

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 4 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '市設置型浄化槽整備事業' and '下水道の整備'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事業概要, 設置浄化槽種類) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (申請書受付業務, 負担金納付書発行等).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 6 columns: ①手段, ④活動指標, 単位, 28年度(実績), 29年度(実績), 30年度(計画), 31年度(目標), 32年度(目標). Rows include 申請書受付, 対象 (世帯数), and 意図 (衛生的な生活環境の向上).

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 投入量 (事業費), 28年度(実績), 29年度(実績), 30年度(計画), 30年度事業費 予算 (千円), 期間限定 総投入量. Rows include 国庫支出金, 事業費計(A), 人件費, トータルコスト(A)+(B).

Table with 4 columns: 事業費の内訳, 29年度事業費 実績 (千円), 30年度事業費 予算 (千円), 合計. Includes a total row for 46,163.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, 32年度の事業内容. Includes a note about recording content by year and a list of main activities.

事務事業名	市設置型浄化槽整備事業	事務事業No.	50501000121	所属課	下水道課
-------	-------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

【経緯】
 旧岩瀬町を区域として、平成18年度より事業実施。翌19年度に桜川市全域に拡大して事業を実施している。
 【事業開始時期からの状況】
 事業開始年度(平成18年度)から500基の高度処理浄化槽を設置完了した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

市民から住宅の新築・改築、又は単独浄化槽からの転換に伴い、浄化槽の設置工事の要望がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

国庫補助事業であり、国及び県の補助要綱に従って事業を行っているため、事業計画の変更にあたっては国・県からの承認を得なければならない。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	水路河川及び霞ヶ浦の水質浄化に寄与し、公衆衛生の向上に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	水環境の保全、霞ヶ浦流域の水質浄化、地下水の汚染防止など、公衆衛生環境の保全の観点から市として事業を行う必要がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	計画に対する整備実績が85%前後を維持しており、既に良い成果を出していると考えられる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	単独浄化槽や汲取り式からの転換を促進させ、環境衛生の向上や水質保全に寄与しているため、廃止・休止により悪影響が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がないため、統廃合できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市設置型事業から個人設置型事業に計画変更し、維持管理を個人に移管することにより事業費・業務時間ともに削減できる。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者が明確で平等な機会があるため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	水質保全のためにも必要な事業であり、継続的な維持管理を行っていく。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>